

高次脳機能障害

—当事者、家族、そして支援者の方々に—



絵・石井一隆(当事者)

なごみだより

令和7年度冬号(第46号)

とちぎ高次脳機能障害友の会 2026.2.15 発行

高次脳機能障害友の会 事務局
TEL 090-8726-5007 FAX 028-638-4322
e-mail info@tochigikoujinou.sunnyday.jp
URL <http://tochigikoujinou.sunnyday.jp>



この会報誌は、赤い羽根共同募金の助成金により発行しています。



はじめに

立春を過ぎ、暦の上では春とはいえ、まだ寒い日が続いております。会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

この春、私たちにとって一つの大きな節目を迎えようとしています。

いよいよこの4月から、待望の「高次脳機能障害者支援法」が施行されます。

この法律の成立は、長年にわたり声を上げ続け、粘り強く歩んできた当事者・家族、そして温かく支えてくださった支援者の皆様のたゆまぬ尽力の賜物です。ここに改めて、深く感謝申し上げます。

これまでは制度のはざままで不安を感じることもありましたが、法整備によって支援の輪がより確かなものとなり、誰もが安心して暮らせる社会への大きな一歩となることを願ってやみません。

厳しい冬を越え、花々が咲き誇る季節がすぐそこまで来ています。新しい制度とともに、私たちの歩みが希望に満ちたものとなりますよう、今後とも温かなご支援とご協力をお願い申し上げます。

会長 徳元昌子



目次

	ページ
はじめに.....	1
活動報告.....	2 - 4
2026年2月～5月までの活動予定.....	4
高次脳機能障害者支援法が制定されました！.....	5
石井君の絵が「作業療法士ジャーナル」の表紙になります.....	5
今年度ご支援・ご寄付いただいた皆様.....	5
<栃木県障害者総合相談所より>.....	6
とちぎ高次脳機能障害友の会【入会のご案内】.....	7

活動報告

高次脳機能障害講演会(赤い羽根共同募金助成事業)「高次脳機能障害の支援 専門職の立場から」
講師 足利赤十字病院リハビリテーション技術部第一急性期リハビリテーション課 作業療法士 松川勇 様
9月24日(水) ぽぼら研修室A・B 参加者12名

高次脳機能障害の概要、症状、対応等をわかりやすく事例を交えて講演してくださいました。メタ認知と心の理論は大変興味深く拝聴しました。具体的な介入やエピソードは家族として関わり方を改めて考えることができました。また、客観的にアドバイスしてくれる支援者の存在は大切と感じました。

講演会のあとに参加者とお茶を飲みながら日々の生活について話し、悩みを共有し意見交換しました。(袖山)



講演会の様子

社会体験研修旅行 10月4日(土) 益子方面(益子焼絵付け体験) 参加者20名

益子共販センターで益子焼絵付け体験では、スタッフの方の話をしっかり聞き、考えた絵や見本を参考にしたりしてそれぞれの皿に書いていきました。書きあがった絵を見て「じょうず、いいね」と声掛け合う姿が見られました。絵付けした皿の焼き上がりは約一か月後になりますが、「楽しかった」「焼き上がりが楽しみ」と感想が多くありました。

昼食は、イタリアンレストランでおいしく食事し、会話が弾み、あっという間に時間が過ぎました。

その後、道の駅で買い物の予定でしたがトイレ休憩だけになり残念でしたが、とても楽しい時間を過ごすことができました。焼き上がりも楽しみです。(袖山)



絵付けの様子

クリスマス会 12月13日(土) ホテル東日本宇都宮1Fフォンターナ 参加者26名

たくさんの会員の皆様と一堂に会することができ、日頃なかなか顔を合わせる機会の少ない方々とも交流できる、たいへん貴重な機会となりました。久しぶりにお顔を拝見すると自然と笑顔になり、このように同じ場に集える喜びを感じるひとときでもありました。

会場では、美味しい料理を囲みながら、くじ引きによるプレゼント交換を行い、終始和やかな雰囲気の中で親睦が深まりました。プレゼントには、定例会で当事者の方々が作成したクリスマスカードも添えられました。温かな気持ちがより一層伝わる時間となりました。

プレゼントのご提供や会の運営にあたり、ご寄付やご協力をお寄せくださった皆様に、心より感謝申し上げます。次回のクリスマス会も、多くの皆様にご参加いただけることを願い、今後も交流の場を大切にしていまいります。(大村)



クリスマス会の様子

定例会 11月8日(土) 13:30~15:30 ぽぽら 当事者8名 家族5名

有限会社 芯和（ここわ）さんのご協力による、パソコン教室でした。

友の会のクリスマス会で配るクリスマスカードを作ろう、というテーマで、デザイン作成サイトの Canva を使用し教えていただきました。

当事者の皆様は、「えがおいっぱいクリスマスになりますように」などメッセージを考え、イラスト選びや配置を工夫していらっしゃいました。個性あふれる素敵なカードがたくさん出来上がりました！

わかりにくいところはサポートをいただきながら、芯和の皆様の明るく丁寧な進行のおかげで、笑いが生まれる楽しいパソコン教室となりました。(大村)



パソコン教室の様子

定例会 1月17日(土) 10:00~12:00 ぽぽら 当事者7名 家族10名

新年が明けて最初の定例会は、アイラップを使った白玉あんみつ作り。参加者それぞれが白玉粉をこねて、形をつくったり（嚙下を考慮した形にしました）、思い思いに盛り付けをしたりと、和やかな雰囲気の中調理を楽しみました。意外にも盛り上がったのは、ホイップクリーム作り。ビニール袋に入れて、手で振る方法に挑戦しました。

みんなで声を掛け合いながら、仕上げることができました。初めて参加された方も加わり、美味しくいただきました。

歓談の時間では、高次脳機能障害者支援法が制定されたことなどを話し合いました。今後も、当事者や家族が社会に望むことや困っていることを発信していく大切さを、改めて共有する機会となりました。(大村)



白玉あんみつ作りの様子

家族の集い 11月26日(水) 13:00~15:00 宇都宮中央市民活動センター 参加者6名
1月28日(水) 13:00~15:00 宇都宮中央市民活動センター 参加者8名

役員会 11月18日(火) 出席者5名 クリスマス会、令和8年度総会打合せ等
1月22日(木) 出席者5名 令和8年度活動計画、総会打合せ等

○ 電話相談	9月——4件	10月——1件	11月——1件	12月——2件
○ メール相談	9月——1件	10月——2件	11月——2件	12月——3件

その他の活動報告

日本高次脳機能障害者の会第21回全国大会2025in福井 10月3日(金)4日(土) 参加者1名

赤い羽根共同募金街頭募金活動 10月13日(月) 参加者2名

令和7年度栃木県高次脳機能障害支援連携協議会(オンライン) 10月31日(金) 参加者1名

カルフルとちぎパネル展示・スタンプラリー協力 とちぎ福祉プラザ 11月1日(土) 参加者2名

栃木県立リハビリテーションセンター障害者自立訓練センター(駒生園)家族教室 11月22日(金) 講師1名

第18回とちぎ就労支援リハビリテーション講習会「高次脳機能障害の就労について」
宇都宮市文化会館第一会議室 支援団体の紹介 11月29日(土) 講師1名

ナスバ栃木支所主催イベント「お互いが寄り添いあえる社会を目指して」
とちぎ福祉プラザ1階多目的ホール 11月29日(土) 講師1名

2026年2月~5月までの活動予定

2月 14日(土)	定例会	ぽぼら	13:30~15:30
3月 14日(土)	定例会	ぽぼら	13:30~15:30
3月 25日(水)	家族の集い	宇都宮市中央市民活動センター	13:00~15:00
※4月の定例会はありません			
5月	総会	※日時等詳細は後日連絡	

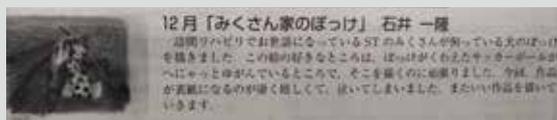
高次脳機能障害者支援法が制定されました！

高次脳機能障害への理解を促進するとともに、高次脳機能障害者の自立及び社会参加のための生活全般にわたる支援をどの地域でも、あらゆる段階（医療・リハビリ⇒生活支援⇒社会参加支援）で、切れ目なく受けられるようにするため、令和7年12月16日に議員立法による「高次脳機能障害者支援法」が成立しました。この法律は、令和8年4月1日から施行予定です。（厚生労働省ホームページ http://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_67482.html）

この法律をきっかけに、高次脳機能障害のある方への支援の輪が広がっていくことを願います。（袖山）

石井君の絵が「作業療法士ジャーナル」第60巻(2026年)12月号の表紙になります。

この表紙を描いている石井一隆君の絵が、全国の作業療法士やリハビリの方々の方々の雑誌「作業療法士ジャーナル」の表紙に選ばれました。これからもすてきな作品を描いてください。（袖山）



今年度ご支援・ご寄付いただいた皆様 一心より感謝申し上げます。—

順不同

高柳 慎八郎 様	船越 政範 様	船山 道隆 様	菊地 幹 様
横山 尚子 様	小森 まどか 様	増淵 静枝 様	服部 裕 様
矢口 君江 様	小原 枝美子 様	大門 亘 様	永島 徹 様
塙 瑞穂 様	畦上 恭彦 様	小賀野 操 様	平田 郁代 様
行澤 省悟 様	松川 勇 様	伊藤 泰孝 様	小野 二千光 様
片根 実 様	倉井 桂子 様	齋藤 正憲 様	齋藤 千恵子 様
笹川 正憲 様	蓼沼 美智代 様	藤井 弘一 様	鱒淵 史雄 様
松山 正子 様	作間 久美子 様	北村 和子 様	

交通事故・弁護士全国ネットワーク 代表弁護士 古田 兼裕 様

有限会社芯和 Cocowa® 青柳 匡宣 様、高橋 様、匿名

NPO 法人チャレンジド・コミュニティ 金井 光一 様

株式会社関東テック 柴田 聖子 様

社会福祉法人みゆきの森 JOY みゆき 大関 喜子 様

当事者・家族の皆様からもご寄付いただきました。ありがとうございました。

お知らせ

今年度の会費の納入をお忘れの方がおられましたら、今一度ご確認をいただきますようよろしくお願いいたします。

寄付のお願い —いつも大変助かっております—

引き出しの奥に眠っている古いハガキや切手、テレホンカード、また書き損じのハガキや年賀状などございましたら是非ご寄付下さい。切手や新しいハガキに交換して活動の一助にさせていただきます。

令和7年度 高次脳機能障害セミナー

申込
不要

参加
無料

高次脳機能障害は、外見からは分かりにくく、周囲の理解を得ることが難しい障害です。このセミナーでは、障害への理解を深めるため、県民の皆様を対象に、YouTubeで配信します。申込不要・参加無料で、どなたでもご視聴いただけます。

配信期間 **2**月**2**日(月)午前9時～**3**月**2**日(月)午後5時まで



動画
配信

見えない障害を理解する ～高次脳機能障害の正しい理解と 支援のヒント～

- 1 高次脳機能障害とは
- 2 日常生活への影響と対応の基本1
(注意障害・記憶障害・遂行機能障害)
- 3 日常生活への影響と対応の基本2
(社会的行動障害)
- 4 日常生活への影響と対応の基本3
(失語症)
- 5 高次脳機能障害のある人を支える
地域連携

講師 櫻岡 絵里香氏

国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科 講師。
回復期リハビリテーション病院で言語聴覚士として勤務
した後、2016年より現職。専門は失語症と高次脳機能
障害で、談話能力やコミュニケーション支援に関する研
究を行っている。
認定言語聴覚士(失語症・高次脳機能障害領域)、臨床
神経心理士、失語症友の会那須ひまわり会事務局担当。



◀ 詳細・視聴はこちら

栃木県障害者総合相談所 高次脳機能障害ホームページに
アクセスします。
視聴後は、アンケートにご協力願います。

https://www.pref.tochigi.lg.jp/e65/koujinoukinou_seminner_etc.html

主催・問合せ **栃木県障害者総合相談所** (高次脳機能障害支援拠点機関)
宇都宮市駒生町3337-1 TEL 028-623-6114

とちぎ高次脳機能障害友の会 入会のご案内

高次脳機能障害者（児）とその家族が悩みを話したり、医療や福祉に関する情報を交換したり、理解ある方々の支援の下一人一人の可能性を伸ばし、楽しみや生活の目標を見つけて地域の中で暮らすことができるよう活動しています。一人で悩まずに共に活動していきましょう。

高次脳機能障害のある方、ご家族、ご理解・ご支援くださる方、正会員または賛助会員として関わって一緒に活動していきませんか。応援してくださる方も賛助会員として随時募集しております。

【活動内容】

- ・ 定例会
- ・ 講演会 ・ 学習会
- ・ 会報誌(なごみだより)年3回発行
- ・ 家族相談会 ・ 家族の集い
- ・ 研修旅行 ・ クリスマス会 等

【主な活動場所】

ぱぼら

〒320-0032 宇都宮市昭和2-2-7

TEL 028-623-3455

※県庁西側 税務署北側

【年会費（一口）】

正会員(個人・家族・支援者)	3,000円
賛助会員(個人)	2,000円
賛助会員(団体)	5,000円



【ご相談や入会・見学希望の方は、
電話または e-mail でご連絡下さい。】

とちぎ高次脳機能障害友の会 事務局
会長 徳元

電話 090-8726-5007

e-mail info@tochigikoujinou.sunnyday.jp



ホームページはコチラから

とちぎ高次脳機能障害友の会

検索

URL <https://tochigikoujinou.sunnyday.jp/>

編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

お正月、今年 28 歳になる娘から「お母さん、今年の抱負は？」と聞かれました。

「何にしよう？」と数日考えて、今年は「手書き」を習慣化したいと考えました。NHK のクローズアップ現代で、手書きの重要性を知ったからです。番組では、パソコンやスマホの普及による「手書き離れ」がもたらす影響と、手書きが見直されている最新動向が紹介されていました。まずは形から…ということで 100 円ショップで新しいノートと消えるボールペンを買いました。気分は学生に戻ったようでちょっとワクワクしま

した。本を読んで、心に残った部分をノートに書き留めることから初めることにしました。

果たして年続くか…？続いたら自分をほめてあげたい！

みなさんの今年の抱負はなんですか？（柳）

会報作成担当

表紙・絵： 石井一隆

本文編集： 柳美由紀 袖山寿美江

印刷・製本：(有) 芯和 Cocowa®